生殖 01：オリエンテーション：これから何を学ぶのか？

日時：8 月 31 日（月）　3 時限
担当者：梶原　健(産科・婦人科)
内容：

1. ユニットの目標
2. 講義内容の紹介
3. 学習方法（予習・復習）
4. シラバスの活用法
5. 昨年度定期試験問題解説
6. 評価方法（定期試験）について

キーワード：
シラバス活用法
A-2-1)課題探求・解決能力　A-2-2)学習の在り方
予習：
特に必要ない。
復習：
特に必要ない。

生殖 02：女性生殖器の発生とその異常

日時：10 月 13 日（火）　1 時限
担当者：梶原　健(産科・婦人科)
内容：

1. Müller 管からの子宮・腟の発生につき説明できる。
2. Rokitansky-Küster-Hauser 症候群などの子宮形態異常につき説明できる。
3. 性腺原基からの卵巣の分化につき説明できる。
4. 性腺の分化異常に由来する疾患を列挙できる。

キーワード：
ミュラー管　Müllerian duct、性腺原基 genital premordium、　性分化　sex development、SRY
C-2-4)個体の発生 C-4-1)遺伝子異常と疾患・発生発達異常 D-9 生殖機能　D-9-1)構造と機能
教科書：

◆ 講義録 産科婦人科学 p2-5

予習：
教科書の講義内容に相当する頁に目を通しておく。(30 分程度)
復習：
特に必要ない。

生殖 03：ホルモンと性周期：子宮内膜と卵巣の周期的変化

日時：10 月 21 日（水）　4 時限
担当者：岡垣　竜吾(産科・婦人科)
内容：

1. 性周期をつかさどる仕組みを説明できる。
2. 視床下部，下垂体，卵巣のホルモンについて説明できる。
3. 排卵機構について説明できる。
4. 子宮内膜の周期的変化のメカニズムを説明できる。

キーワード：

FSH、LH、PRL、GnRH、キスペプチン kisspeptin、ネガティブフィードバック negative feedback、ポジティブフィードバック positive feedback、エストロゲン estrogen、プロゲステロン progesterone、卵胞 follicle、グラーフ卵胞 Graafian follicle、黄体 corpus luteum、卵胞期 follicular phase、排卵 ovulation、黄体期 luteal phase、子宮内膜 endometrium、増殖期 proliferative phase、分泌期 secretory phase、脱落膜化 decidualization
D-12 内分泌・栄養・代謝系　D-12-1) 構造と機能

教科書：

◆ 講義録 産科婦人科学 p24-29

予習：

上記キーワードについて調べる。（30 分程度）

復習：

講義資料を見直す。（30 分程度）

生殖 04：生殖器系の解剖：婦人科手術の視点から

日時：10 月 21 日（水）　5 時限

担当者：岡垣　竜吾（産科・婦人科）

内容：

生殖器系の正常解剖とその機能を理解する。

1. 内性器と外性器を構成する器官とその機能を説明できる。
2. 子宮を支持する組織を列挙し、その役割を説明できる。
3. 骨盤内へ血液を供給する血管を列挙し、その機能を説明できる。
4. 骨盤内を支配する神経系を列挙し、その役割を説明できる。
5. 子宮と卵巣の月経周期における組織学的な変化を説明できる。

キーワード：

骨盤内臓器 intrapelvic organ、血管・神経支配、支持組織 supportive tissue
D-9 生殖機能　D-9-1)構造と機能

教科書：

◆ 講義録 産科婦人科学 p6-19

予習：

教科書、参考書の講義内容に相当する頁に目を通しておく。（30 分程度）

復習：

講義内容を A4 版 1/2 枚～1 枚にまとめてみる。（30 分程度）

生殖 05：婦人科外来診察のキホン

日時：10 月 22 日（木）　2 時限

担当者：宮﨑　加寿子（産科・婦人科）

内容：

婦人科診察に必要な事項を理解し、それを実践するための方法を学ぶ。

1. 婦人科診察での問診の方法を理解し、その流れを説明できる。
2. 婦人科の診察方法を理解し、それぞれの診察方法で何が診断できるか説明できる。
3. 婦人科診察で使用する機材の名称とその使用法を説明できる。
4. 婦人科診察で行う細胞診や組織診の意義、採取方法とその所見を説明できる。
5. 婦人科外来で行う検査を列挙し、その意義と所見を説明できる。

キーワード：

問診 medical interview、内診 pelvic examination、細胞診 cytology、組織診 hystology、外来検査
D-9 生殖機能　D-9-2)診断と検査の基本

教科書：

◆ 講義録 産科婦人科学 p58-67, p84-89

予習：

教科書、参考書の講義内容に相当する頁に目を通しておく。（30 分程度）

復習：

講義内容を A4 版 1/2 枚～1 枚にまとめてみる。（30 分程度）

生殖 06：婦人科の痛み：婦人科急性腹症を見落とさないために

日時：10 月 26 日（月）　3 時限

担当者：高村　将司（産科・婦人科）

内容：

1. 婦人科急性腹症の鑑別診断を列挙できる。
2. 異所性妊娠について説明できる。
3. 卵巣出血について説明できる。
4. 卵巣腫瘍茎捻転について説明できる。
5. 卵巣嚢腫破裂について説明できる。
6. 骨盤腹膜炎について説明できる。
7. 子宮内膜症と痛みについて説明できる。

キーワード：

急性腹症　acute abdomen、異所性妊娠　ectopic pregnancy、卵巣出血 ovarian bleeding、卵巣腫瘍茎捻転 ovarian torsion、卵巣嚢腫破裂　rupture of ovarian cyst、骨盤内炎症　pelvic inflammatory disease; PID、子宮内膜症　endometriosis

F-1 症候・病態からのアプローチ　F-1-20)腹痛

教科書：

◆ 講義録 産科婦人科学 p72, p299-300, p324-327

予習：

教科書の講義内容に相当する頁に目を通しておく。（30 分程度）

復習：

特に必要ない。

生殖 07：月経の正常と異常を見分ける

日時：10 月 26 日（月）　4 時限

担当者：梶原　健（産科・婦人科）

内容：

1. 正常な月経の周期、持続期間、量について説明できる。
2. 初経・閉経時期の異常について説明できる。
3. 月経周期の異常（頻発月経、稀発月経、無月経）について説明できる。
4. 月経持続期間の異常（過長月経）について説明できる。
5. 月経量の異常（過少月経、過多月経）について説明できる。
6. 月経随伴症状（月経困難症）について説明できる。
7. 月経の異常をきたす疾患とその治療について説明できる。

キーワード：

過多月経 hypermenorrhea、貧血 anemia、月経困難症 dysmenorrhea、月経異常 menstrual disorder、無月経 amenorrhea、月経前症候群 premenstrual syndrome; PMS、月経前不快気分障害 premenstrual dysphoric disorder; PMDD、ホルモン治療

F-1 症候・病態からのアプローチ　F-1-30)月経異常

教科書：

◆ 講義録 産科婦人科学 p68, p84, p212-233

予習：

特に必要ない。

復習：

講義内容を A4 版 1/2 枚～1 枚にまとめてみる。（30 分程度）

生殖 08：統計・疫学データからみた産婦人科

日時：10 月 27 日（火）　5 時限

担当者：左　勝則（産科・婦人科）

内容：

女性のライフスタイルの変化が産婦人科疾患におよぼす影響について政府統計や大規模疫学データを通じて理解する。

1. 代表的な産婦人科疾患・合併症や体外受精等の治療についての年次推移を説明できる。
2. 政策が産婦人科疾患・合併症に及ぼす影響について説明できる。
3. 合計特殊出生率の定義・日本における推移について説明できる。
4. 世界と比較した際の日本の産婦人科疾患・合併症や治療の特色について説明できる。

キーワード：

生殖補助医療 assisted reproductive technology、多胎妊娠 multiple pregnancy、子宮頸癌　uterine cervical cancer、HPV ワクチン HPV vaccine、早産 preterm birth、低出生体重 low birth weight、合計特殊出生率 total fertility rate

B-1 集団に対する医療 B-1-1)統計の基礎 B-1-2)統計手法の適用 B-1-3)根拠に基づく医療（EBM） B-1-4)疫学と予防医学

予習：

特に必要ない。

復習：

講義内容を A4 版 1/2 枚～1 枚にまとめてみる。（30 分程度）

生殖 09：産婦人科と Evidence-Based Medicine

日時：10 月 27 日（火）　6 時限

担当者：左　勝則（産科・婦人科）

内容：

産婦人科領域における EBM(Evidence-Based Medicine, 実証に基づく医療)を実践するために必要な臨床疫学の基本的概念を理解する。

1. EBM のためのステップを説明することができる。
2. 臨床研究のデザインの種類と、それぞれの長所・短所について説明できる。
3. 絶対リスクと相対リスクの違いを説明できる。
4. バイアス、交絡因子を説明できる。
5. 論文から得られたエビデンスを患者に適用する際の問題点を挙げることができる。

キーワード：

コホート研究 cohort study、症例対象研究 case-control study、ランダム化比較試験 randomized control study、システマティックレビュー systematic review、交絡因子 confounding factor、バイアス bias

B-1-3)根拠に基づく医療（EBM） F-2-2)根拠に基づく医療（EBM）

予習：

特に必要ない。

復習：
講義内容を A4 版 1/2 枚～1 枚にまとめてみる。（30 分程度）

生殖 10：性感染症・避妊法：医学生としてこれだけは知っておきたい

日時：10 月 29 日（木）　1 時限
担当者：髙橋　幸子（産科・婦人科）
内容：

1. 性感染症（STI）の感染経路、診断、治療、予防につき説明できる。
2. 婦人科感染症とそれに特徴的な帯下の異常につき説明できる。
3. 避妊法につき説明できる（緊急避妊を含む）。

キーワード：
性感染症 sexually transmitted infections；STI　避妊法（緊急避妊法）contraception (emergency contraception)、帯下　discherge、骨盤内炎症　pelvic inflammatory disease; PID 、膣炎　vaginitis
E-1 感染症　E-1-1)病態 E-1-2)診断・検査・治療の基本 E-1-3)症候 E-1-4)疾患
教科書：

◆ 講義録 産科婦人科学 p301-304, p251-253

予習：
教科書、参考書の講義内容に相当する頁に目を通しておく。（30 分程度）
復習：
講義内容を A4 版 1/2 枚～1 枚にまとめてみる。（30 分程度）

生殖 11：男性からみた不妊と避妊

日時：11 月 9 日（月）　6 時限
担当者：林　泰樹（泌尿器科）
内容：

1. 男性不妊の原因につき説明できる。
2. 男性不妊の検査法につき説明できる。
3. 男性不妊の原因別治療法につき説明できる。

キーワード：
男性不妊（検査・治療）male infertility
D-9 生殖機能 D-9-1)構造と機能 D-9-2)診断と検査の基本 D-9-3)症候 D-9-4)疾患
教科書：

◆ 講義録 産科婦人科学 p96-97, p242-243

予習：
教科書、参考書の講義内容に相当する頁に目を通しておく。（30 分程度）
復習：
講義内容を A4 版 1/2 枚～1 枚にまとめてみる。（30 分程度）

生殖 12：エストロゲンと黄体ホルモンを使いこなす

日時：11 月 10 日（火）　4 時限
担当者：髙井　泰（総セ 産婦人科）
内容：

1. エストロゲンと黄体ホルモンの産生・調節機構を説明できる。
2. エストロゲンと黄体ホルモンの作用機序を説明できる。

3. エストロゲンと黄体ホルモンによる子宮内膜の増殖と分化を説明できる。
4. エストロゲンと黄体ホルモンの乳房への作用を説明できる。
5. エストロゲンの骨代謝への作用を説明できる。
6. エストロゲンと黄体ホルモンによる全身への作用を説明できる。

キーワード：

エストロゲン estrogen、エストラジオール estradiol、プロゲステロン progesterone、視床下部 hypothalamus、下垂体 pituitary gland、卵胞 follicle、黄体 corpus luteum、増殖期子宮内膜 proliferative phase、分泌期子宮内膜 secretory phase、乳腺 mammary gland、アロマターゼ aromatase

D-12 内分泌・栄養・代謝系　D-12-2)診断と検査の基本 D-9 生殖機能　D-9-2)診断と検査の基本

教科書：

◆ 講義録 産科婦人科学 p30-35

予習：

教科書、参考書の講義内容に相当する頁に目を通しておく。（30 分程度）

復習：

講義内容を A4 版 1/2 枚～1 枚にまとめてみる。（30 分程度）

生殖 13：不妊と社会：生殖補助医療の実態

日時：11 月 10 日（火）　5 時限

担当者：髙井　泰（総セ 産婦人科）

内容：

1. 不妊症・不育症の原因、系統的な検査の実際とその解釈を理解できる。
2. 不妊症・不育症に対する治療、体外受精・胚移植などの生殖補助医療の実態を理解し、その限界や、医学的および社会的問題点を説明できる。

キーワード：

子宮卵管造影 hysterosalpingography; HSG、精液検査 semen test、ヒューナーテスト Hühner test、基礎体温 basal body temperature; BBT、卵管性不妊 tubal infertility，習慣流産 habitual abortion、抗リン脂質抗体症候群、排卵誘発、人工授精(AIH/IUI)、卵巣過剰刺激症候群 ovarian hyperstimulation syndrome; OHSS、体外受精-胚移植 IVF-ET、顕微授精(細胞内精子注入法)ICSI、卵子提供 egg donation、代理母 surrogate mother、着床前診断 pre-implantation diagnosis

B-1-6)社会・環境と健康

教科書：

◆ 講義録 産科婦人科学 p234-245

予習：

教科書、参考書の講義内容に相当する頁に目を通しておく。（30 分程度）

復習：

講義内容を A4 版 1/2 枚～1 枚にまとめてみる。（30 分程度）

生殖 14：女性が健康に暮らし、願いが叶う社会を作ろう

日時：11 月 10 日（火）　6 時限

担当者：髙橋　幸子（産科・婦人科）

内容：

1. 思春期と二次性徴につき男女別に説明できる。
2. 月経の調整法につき説明できる。
3. DV の防止と発見時の対策につき説明できる。
4. 女性の社会活動とワークライフバランスにつき説明できる。

キーワード：
思春期 puberty、二次性徴 secondary sex characteristics、性成熟期、月経調整、家庭内暴力 domestic violence;DV　ワークライフバランス work-life balance、キャリアパス career path program
E-5-4)思春期

教科書：
◆ 講義録 産科婦人科学 p20-23

予習：
教科書、参考書の講義内容に相当する頁に目を通しておく。（30 分程度）

復習：
講義内容を A4 版 1/2 枚～1 枚にまとめてみる。（30 分程度）

生殖 15：女性のライフステージ：女性医学が果たす役割

日時：11 月 17 日（火）　4 時限

担当者：高村　将司（産科・婦人科）

内容：
1. 女性医学の果たす役割につき説明できる。
2. 周閉経期、ポストメノポーズとは何か説明できる。
3. 女性の加齢と生活習慣病につき説明できる。
4. エストロゲンと骨粗鬆症の関係を説明できる。
5. 下部尿路症状、骨盤臓器脱につき説明できる。

キーワード：
女性医学　women’s health、生活習慣病　lifestyle-related disease、骨粗鬆症　osteoporosis、周閉経期 perimenopause、ポストメノポーズ　postmenopause、骨盤臓器脱　pelvic organ prolaose; POP、過活動膀胱　overactive bladder; OAB、失禁　incontinence、女性下部尿路症状　female lower urinary tract symptoms; FLUTS
E-5-1)胎児・新生児 E-5-2)乳幼児 E-5-3)小児期全般 E-5-4)思春期 E-6-1)老化と高齢者の特徴

教科書：
◆ 講義録 産科婦人科学 p82-83, p246-250

予習：
教科書、参考書の講義内容に相当する頁に目を通しておく。（30 分程度）

復習：
講義内容を A4 版 1/2 枚～1 枚にまとめてみる。（30 分程度）

生殖 16：女性と子どもを守る社会制度・法律

日時：11 月 11 日（水）　5 時限

担当者：田丸　俊輔（産科・婦人科）

内容：
1. リプロダクティブヘルス/ライツとは何か説明できる。
2. 女性の健康を守る法制度につき説明できる。
3. 女性の健康増進に関わる施策が説明できる。
4. すこやか親子 21 の内容につき説明できる。

キーワード：
リプロダクティブヘルス/ライツ　reproductive health / rights、母体保護法、母子保健法、労働基準法、雇用機会均等法、すこやか親子 21
B-1-6)社会・環境と健康

教科書：

◆ 講義録 産科婦人科学 p134-136

予習：

特に必要ない。

復習：

講義内容を A4 版 1/2 枚～1 枚にまとめてみる。（30 分程度）

生殖 17：生殖倫理：多様な家族のカタチ

日時：11 月 12 日（木）　5 時限

担当者：石原　理(産科・婦人科)

内容：

1. 第三者のかかわるさまざまな生殖について説明できる。
2. 時間と空間を超える生殖について説明できる。
3. 多様な家族のカタチについて説明できる。
4. 生殖に関連する基本的な法規制とガイドラインについて説明できる。

キーワード：

配偶子・胚提供 gamete/embryo donation、配偶子・胚凍結 gamete/embryo freezing、子宮移植 uterine transplantation、人工配偶子 artificial gamete、再生医療 regenerative medicine、医事法 medical law、家族法 family law、ガイドライン guideline

C-5 人の行動と心理　C-5-5)生涯発達

教科書：

◆ 講義録 産科婦人科学 p194-199

予習：

特に必要ない。

復習：

講義資料を見直し、講義時に提示する参考書のうち興味のあるものを読む。（30 分程度）

生殖 18：婦人科と遺伝カウンセリング

日時：11 月 11 日（水）　4 時限

担当者：上村　のぞみ(ゲノム医療科)

内容：

1. 生殖細胞変異と体細胞変異の違いを説明できる。
2. 遺伝学的検査の目的と意義を言える。
3. 遺伝カウンセリングの意義と方法につき説明できる。
4. 染色体異常に伴う婦人科疾患（性分化異常症）につき説明できる。
5. 単一遺伝子疾患の遺伝様式につき、代表的婦人科疾患である遺伝性乳癌卵巣癌を例として説明できる。

キーワード：

生殖細胞変異 germline mutation、体細胞変異 somatic mutation、遺伝カウンセリング genetic counseling、染色体異常 chromosomal anomaly、単一遺伝子疾患 monogenic disease、遺伝性乳癌卵巣癌 Hereditary Breast and Ovarian Cancer (HBOC)

C-2-6)遺伝と遺伝子

教科書：

◆ 講義録 産科婦人科学 p202-209

予習：

教科書の講義内容に相当する頁に目を通しておく。（30 分程度）

復習：
特に必要ない。

生殖 19：子宮と付属器の良性腫瘍：診断と治療

日時：12 月 1 日（火）　3 時限
担当者：高村　将司(産科・婦人科)
内容：
子宮と付属器の良性腫瘍について病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。
1. 良性子宮腫瘍を列挙し、それにより生じる症候を説明できる。
2. 良性婦人科腫瘍に対する薬物治療を説明できる。
3. 良性婦人科腫瘍に対する外科的治療を説明できる。

キーワード：
良性卵巣腫瘍（内膜症除く）　benign ovarian tumor、MRI、腫瘍マーカー tumor marker、茎捻転 ovarian torsion
F-1-30)月経異常 E-2 腫瘍 E-2-1)定義・病態 E-2-2)診断 E-2-3)治療 E-2-4)診療の基本的事項 E-2-5)各論
教科書：
◆ 講義録 産科婦人科学 p112-123
予習：
教科書、参考書の講義内容に相当する頁に目を通しておく。(30 分程度)
復習：
講義内容を A4 版 1/2 枚～1 枚にまとめてみる。(30 分程度)

生殖 20：異常子宮出血を診断する・止血する

日時：12 月 3 日（木）　4 時限
担当者：梶原　健(産科・婦人科)
内容：
1. 異常子宮出血の分類（PALM-COEIN）について説明できる。
2. 異常子宮出血の鑑別診断について説明できる。
3. 異常子宮出血の止血法について説明できる。

キーワード：
異常子宮出血　atypical uterine bleeding、PALM-COEIN 分類、ホルモン治療 hormonal therapy、外科的止血法 hemostatic method
F-1-30)月経異常
教科書：
◆ 講義録 産科婦人科学 p212-217
予習：
特に必要ない。
復習：
講義内容を A4 版 1/2 枚～1 枚にまとめてみる。(30 分程度)

生殖 21：婦人科画像診断のポイント

日時：12 月 4 日（金）　1 時限
担当者：亀井　良政(産科・婦人科)

内容：

婦人科画像診断のポイント

1. ★D-9-2 D-9-3 正常女性生殖器の超音波所見を説明できる。
2. ★D-9-2 D-9-3 性周期に伴う女性生殖器の超音波所見の変化を説明できる。
3. ★D-9-2 D-9-3 正常女性生殖器の CT ならびに MRI 所見を説明できる。
4. ★D-9-2 D-9-3 女性生殖器系疾患における CT ならびに MRI 所見の特徴を説明できる。

キーワード：

殖器の超音波検査所見　（正常・異常）、CT、MRI

★D-9-2　D-9-3

教科書：

◆ 標準産科婦人科学　第 5 版　医学書院　P274-303

予習：

教科書、参考書の講義内容に相当する頁に目を通しておく。（30 分程度）

復習：

講義内容を A4 版 1/2 枚～1 枚にまとめてみる。（30 分程度）

生殖 22：婦人科腫瘍総論（1）：婦人科腫瘍の疫学と診断

日時：12 月 14 日（月）　2 時限

担当者：黒崎　亮(国セ 婦人科腫瘍科)

内容：

1. 腫瘍、新生物、過形成、癌などの用語の定義が説明できる。
2. 婦人科腫瘍の疫学、病因、遺伝子、腫瘍微小環境などについて説明できる。
3. 婦人科腫瘍に対する診断法について説明できる。

キーワード：

疫学 epidemiology、病因 etiology、診断法 diagnosis、ステージング staging

E-2 腫瘍 E-2-1)定義・病態 E-2-2)診断 E-2-3)治療 E-2-4)診療の基本的事項

教科書：

◆ 講義録 産科婦人科学 p98-103, p266-294

予習：

がんの一般的な知識に関して整理しておく。（30 分程度）

復習：

特に必要ない。

生殖 23：婦人科腫瘍総論（2）：婦人科腫瘍の治療と妊孕性の温存

日時：12 月 14 日（月）　3 時限

担当者：黒崎　亮(国セ 婦人科腫瘍科)

内容：

1. 婦人科腫瘍に対する治療法及びそのストラテジーを説明できる。
2. 緩和治療についてその目的、治療目標について議論ができる。
3. 婦人科腫瘍の治療と妊孕性の温存について説明できる。

キーワード：

ステージング staging、治療総論

E-2 腫瘍 E-2-1)定義・病態 E-2-2)診断 E-2-3)治療 E-2-4)診療の基本的事項

教科書：

◆ 講義録 産科婦人科学 p164-173

予習：
がんの一般的な知識に関して整理しておく。（30 分程度）
復習：
特に必要ない。

生殖 24：卵巣悪性腫瘍、卵管癌、腹膜癌、卵巣境界悪性腫瘍（1）：症候と診断

日時：12 月 21 日（月）　4 時限
担当者：長谷川　幸清(国セ 婦人科腫瘍科)
内容：
1. 臨床病理学的分類を説明できる。
2. 組織別罹患危険因子を説明できる。
3. 臨床病期分類を説明できる。

キーワード：
卵巣癌 ovarian carcinoma 、境界悪性腫瘍 borderline tumor、BRCA
E-2 腫瘍　E-2-5)各論
教科書：
◆ 講義録 産科婦人科学 p280-285
予習：
教科書、参考書の講義内容に相当する頁に目を通しておく。（30 分程度）
復習：
講義内容を A4 版 1/2 枚～1 枚にまとめてみる。（30 分程度）

生殖 25：卵巣悪性腫瘍、卵管癌、腹膜癌、卵巣境界悪性腫瘍（2）：治療

日時：12 月 21 日（月）　5 時限
担当者：長谷川　幸清(国セ 婦人科腫瘍科)
内容：
1. 臨床期分類に従った治療方針と治療成績を述べられる。
2. 再発時の治療について説明できる。

キーワード：
ステージング手術、減量手術 debulking surgery、化学療法 chemotherapy、分子標的薬 molecularly-targeted therapy、PARP 阻害剤 PARP inhibitor
E-2 腫瘍　E-2-5)各論
教科書：
◆ 講義録 産科婦人科学 p164-167, p172-173, p280-285
予習：
教科書、参考書の講義内容に相当する頁に目を通しておく。（30 分程度）
復習：
講義内容を A4 版 1/2 枚～1 枚にまとめてみる。（30 分程度）

生殖 26：ジェンダーとセクシュアリティ：その多様性と性科学

日時：12 月 23 日（水）　2 時限
担当者：石原　理(産科・婦人科)
内容：
1. 女性のからだ、とくに生殖器の機能を説明できる。

2. セクシュアリティとセックスについて説明できる。
3. ジェンダーの意味とその多様性を説明できる。
4. ジェンダーへの医学的介入について説明できる。

キーワード：

性的二型性 sexual bimorphism、セクシュアリティ sexuality、ジェンダー gender、Gender Dysphoria、Transgender、性別再指定手術 gender reassignment surgery、LGBT、性科学 sexual medicine
B-3-1)倫理規範と実践倫理

教科書：

◆ 講義録 産科婦人科学 p2, p56-57

予習：

特に必要ない。

復習：

講義資料を見直し、講義時に提示する参考書のうち興味のあるものを読む。（30 分程度）

生殖 27：子宮頸部腫瘍

日時：1 月 12 日（火）　1 時限

担当者：吉田　裕之(国セ 婦人科腫瘍科)

内容：

1. 疫学的特徴を説明できる。
2. 原因を説明できる。
3. 診断のための症状，診察方法，検査方法を説明できる。
4. 臨床期別分類のための診察方法と所見，検査方法と所見を説明できる。
5. 期別分類に従った各種治療方針を説明できる。

キーワード：

子宮頸癌　uterine cervical cancer，頸部異形成 cervical dysplasia，HPV 感染 HPV infection，細胞診 cytology，コルポスコープ colposcopic examination，狙い組織診 punch biopsy，臨床進行期 clinical staging，円錐切除 conization，広汎子宮全摘術 radical hysterectomy，放射線治療 radiation therapy，化学療法 chemotherapy
E-2 腫瘍　E-2-5)各論

教科書：

◆ 講義録 産科婦人科学 p266-273

予習：

子宮頸癌の自然史について確認しておく。（30 分程度）

復習：

講義内容を A4 版 1/2 枚～1 枚にまとめてみる。（30 分程度）

生殖 28：子宮体部腫瘍・絨毛性疾患

日時：1 月 15 日（金）　1 時限

担当者：藪野　彰(国セ 婦人科腫瘍科)

内容：

1. 疫学的特徴を説明できる。
2. 子宮体部に発生する悪性腫瘍にはどのようなものがあるか列挙できる。
3. 原因を説明できる。
4. 診断のための症状，診察方法，検査方法を説明できる。
5. 臨床期別分類のための診察方法と所見，検査方法と所見を説明できる。
6. 期別分類に従った各種治療方針を説明できる。

キーワード：

子宮内膜増殖症 endometrial hyperplasia，子宮体癌 endometrial cancer，エストロゲン estrogen, 子宮肉腫 uterine sarcoma，子宮内膜組織診 biopsy of endometrial tissue，臨床進行期 clinical staging，手術療法 surgery，放射線治療 radiationtherapy，化学療法 chemotherapy、胞状奇胎 hydatidiform mole、絨毛癌 chorionic cancer
E-2 腫瘍　E-2-5)各論

教科書：

◆ 講義録 産科婦人科学 p274-279, p286-291

予習：

子宮体癌とエストロゲンの関係について確認しておく。（30 分程度）

復習：

講義内容を A4 版 1/2 枚～1 枚にまとめてみる。（30 分程度）

生殖 29：子宮腫瘍の病理

日時：1 月 15 日（金）　2 時限

担当者：山下　高久（総セ 病理部）

内容：

子宮の正常構造と悪性腫瘍について学ぶ。

1. 子宮頸部と体部の解剖学的・組織学的違いについて説明できる。
2. 子宮頸部の種々の病変と HPV 感染との関わりについて説明できる。
3. 子宮頸部の扁平上皮系・腺系病変の代表的なものについて説明できる。
4. 子宮体部の内膜増殖症について前癌病変の観点から説明できる。
5. 子宮体部の上皮系と非上皮系の悪性腫瘍の代表的なものについて説明できる。
6. 1.～5.を理解した上で，子宮頸部と体部の違いを総合的に説明できる。

キーワード：

HPV 感染 HPV infection，異形成 dysplasia，扁平上皮癌 squamous cell carcinoma，内膜増殖症 endometrial hyperplasia，類内膜癌 endometrioid cancer
C-4 病因と病態　C-4-6)腫瘍

教科書：

◆ 講義録 産科婦人科学 p266-269, p274-275

予習：

子宮の解剖学・組織学的特徴，および月経周期に伴う生理的変化を確認して，様々な疾患／腫瘍がどのように，どこから発生するのかを学ぶための基本知識を確認する。（30 分程度）

復習：

子宮の疾患/腫瘍の多くは扁平上皮系と腺上皮系に分かれるが，それらの特徴を解剖学・組織学的，および生理学的視点から理解に努め，頸部と体部の疾患に対する考え方を再確認する。（30 分程度）

生殖 30：卵巣腫瘍の病理

日時：1 月 15 日（金）　3 時限

担当者：山下　高久（総セ 病理部）

内容：

卵巣の正常構造と良性腫瘍、境界悪性病変、悪性腫瘍について学ぶ。

1. 卵巣の解剖学的・組織学的特徴を説明できる。
2. 卵巣腫瘍の分類を組織発生（由来）の観点から説明できる。
3. 卵巣腫瘍の分類を良性・境界悪性・悪性の観点から説明できる。
4. 卵巣上皮性悪性腫瘍の特徴が説明できる。
5. 卵巣腫瘍と子宮内膜症との関連について説明できる。

6. 卵巣胚細胞性腫瘍の特徴が説明できる。
7. 卵巣性索間質性腫瘍の特徴が説明できる。

キーワード：

腺腫 adenoma，境界悪性腫瘍 borderline tumor，子宮内膜症 endometriosis，漿液性癌 serous carcinoma，明細胞癌 clear cell carcinoma

C-4 病因と病態　C-4-6)腫瘍

教科書：

◆ 講義録 産科婦人科学 p280-283

予習：

卵巣の解剖学・組織学的特徴，および月経周期に伴う生理的変化を確認して，様々な疾患/腫瘍がどのように，どこから発生するのかを学ぶための基本知識を確認する。（30 分程度）

復習：

卵巣の疾患/腫瘍は良性・境界悪性・悪性に分かれるが，それらの特徴を組織発生に基づいた分類の視点とも絡めた理解に努め，精巣の疾患/腫瘍とは何が異なり，卵巣では何故そのような違いが生じるのかについて整理してみる。（30 分程度）